

You,
Unlimited



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

2019 年度

龍谷大学

3 年次編入学・転入学試験要項
2 年次転学科・転入学試験要項
社会人編入学・転入学試験要項

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

龍谷大学は、建学の精神（浄土真宗の精神）に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生（ともいき）の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成することを「教育にかかるとともに基本方針」として掲げています。この基本方針に基づき、次の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を掲げています。

龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、価値観が多様化する社会において、本学の建学の精神を体現するための意欲と各学部での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れることを基本とします。

各学部は、龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のもと、各学部それぞれの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針に基づき、各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めるとともに、各入学試験を設定しています。

■各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○文学部

文学部では、建学の精神に基づいて、人文学の知的体系の研究・教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 文学部の教育理念や目的を十分に理解している人
- 2) 明確な目的意識と学修意欲を持った人
- 3) 人文学の基盤となる「言葉」に対する鋭い感覚と正しい理解、そして豊かな運用能力のさらなる向上をめざして努力することのできる人

○経済学部

経済学部では、21世紀初頭において日本と世界の経済が大きな転換期を迎えるなかで、経済のグローバル化、情報化、地域経済の役割の増大などといった現代社会が直面する課題に対応できるような人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 社会に対する幅広い関心を持ち、主体的に学修できる人
- 2) 様々なツールを用いて、自己を豊かに表現する能力をもった人
- 3) 新たな問題を発見し、その解決に自ら進んで取り組む人

○経営学部

経営学部では、学生のそれぞれの学修目標にあわせて、少人数の演習学修と、理論と実践を組み合わせたカリキュラムを提供することによって、変化の激しい時代に対応でき、社会から信頼される経営人（働くことを通じて社会に貢献する人材）を育成することを目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 明確な目的意識と学修意欲をもった人
- 2) さまざまな場面で基本的な能力として求められるコミュニケーション能力をもった人
- 3) 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人

○法学部

法学部では、日本国憲法の理念を基礎に、法学と政治学の教育・研究を通じて、広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し、鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、自立的な市民の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に生起する諸問題に広く関心を有するとともに、その解決に取り組む意欲を有する人
- 2) 問題を論理的に分析する能力や、自らの意見を論理的に表明する能力を有する人
- 3) 自ら問題を発見し、それについて自ら考え、行動する能力を有する人

○政策学部

政策学部では、幅広い教養と専門的な知識を身につけて社会の持続可能な発展のために行動し、協働型社会を担うために必要な公共性と市民性を持ち、国際的な視点から政策を提案し実行する能力を備えた人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 人文・社会・自然科学の領域について幅広い関心を持ち、総合的な観点から現代社会の課題解決に取り組む意欲を持っている人
- 2) 国際的な視点から都市問題、環境問題などの地域社会の課題を解決することに関心を持っている人
- 3) 協働型社会を支える公共性と市民性を学ぶ意欲を持ち、政策立案と実施能力を備えた専門的職業人となるために勉学に取り組む人

○国際学部

国際学部では、異文化への理解を深めるとともに、自文化についての発信力を養い、グローバル化が加速する時代において、柔軟な思考と批判的精神をもって対応できるコミュニケーション能力、問題解決能力及び倫理観を備えた人間の育成を目指しています。

そのため、3年次編入学・転入学にあたって、次のような人が入学することを求めています。

- 1) グローバル化が加速する時代の動向に強い関心と好奇心を有し、学部の教育理念を深く理解し、強い意欲をもって学んでいこうとする人
- 2) 異文化に対して寛容かつ柔軟に対応でき、国際的に貢献したいという明確な目的意識をもった人
- 3) 英語をはじめとする外国語の能力が高く、さらなる向上を目指す人
- 4) 国際学部2年次修了に相当する学業をすでに修めた人

○理工学部

理工学部では、現代の自然科学を代表するキーワードである「情報」「システム」「エネルギー」「材料・物質」「環境」に対応し、人間と地球環境に調和した科学・技術の発展を支える6学科で構成されています。それぞれの学科において、最新の理学と工学を融合させることにより、新しい視点に立った学問の道を開き、時代の要請にかなった先端技術の発展に寄与しうる人材の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 広い分野にわたり基礎学力に優れ、科学的センスを持っている人
- 2) 明確な目的意識と勉学意欲を持っている人
- 3) 知的好奇心や自然科学への関心を持っている人

○社会学部

社会学部では、社会を単なる人と人との結びつきと捉えるだけでなく、社会と環境との結びつきをも重視する必要があると考え、社会や地域における多様な関係を尊重する教育理念を掲げています。このような理念のもと、IT化、グローバル化、少子高齢化など急速な社会変化によって生じる現代社会の諸課題に対して、創造的に対応できる知識や専門的能力、問題解決能力を持った人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に関して幅広く関心を持ち、社会学部の教育理念を深く理解し、明確な目的意識をもって勉学に取り組む人
- 2) 社会や地域に生起する諸問題を分析し、その解決を図る方法について考察する能力をもった人（社会学科・コミュニティマネジメント学科）
- 3) 社会福祉に関心を持ち、社会福祉専門職としての支援や、地域・企業・学校などさまざまな領域での社会貢献活動に意欲をもつ人（現代福祉学科）

○農学部

生命・資源・食料・経済 ～未来への持続可能な農業をめざして～

農学部の教育は、自然科学の領域だけでなく、人文・社会科学の領域や食品栄養学の領域を含む、幅広い分野の教育を、融合的に行うことをめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) これら「食」と「農」を支える領域への幅広い興味と、農学への強い意欲をもって人
- 2) 農学の教育を行うにあたって、自然科学と社会科学に関心があり、関連する実習や実験をやり遂げる意思と能力をもった人

については、高等学校等での学習では、農学部で教育を受ける上で基本となる高校での教科を幅広く基礎的事項についてしっかり勉強することを望みます。

〈植物生命科学科〉

本学科では、農業の基礎となる農作物の生育や変異の仕組みを正しく理解するために、植物を中心とした生命科学領域を学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

〈資源生物科学科〉

本学科では、「食の安全・安心」を支える農作物を生産する上で不可欠な技術などを正しく理解するために、農業に直結する自然科学領域を中心に学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

〈食料農業システム学科〉

本学科では「食」と「農」に関わる問題を、単なる技術的問題でなく、「社会や経済の仕組みの問題」として正しく理解し、その解決方法を検討・考察するために「食と農に関わる社会科学」を中心に学びます。文系科目の基礎学力がある人、もしくは理系科目の基礎学力がある人の双方を希望します。また、「食」と「農」に関わる国内外の社会問題・経済問題を学ぶためには、農業の現場においてフィールドワークを行うことが重要な意味をもっています。コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

募集学部・募集人員

学 部	学 科 ・ 専 攻	募集人員※			
		2年次転入学	3年次編転入学	社会人編転入学	
文 学 部	真 宗 学 科	—	13名		
	仏 教 学 科	—	8名		
	哲 学 科	哲 学 専 攻	—	3名	
		教 育 学 専 攻	—	3名	
	臨 床 心 理 学 科	—	3名		
	歴 史 学 科	日 本 史 学 専 攻	—	4名	
		東 洋 史 学 専 攻	—	3名	
		仏 教 史 学 専 攻	—	3名	
		文 化 遺 産 学 専 攻	—	3名	
	日 本 語 日 本 文 学 科	—	3名		
英 語 英 米 文 学 科	—	3名			
経 済 学 部	現 代 経 済 学 科	—	7名	—	
	国 際 経 済 学 科	—	5名	—	
経 営 学 部	経 営 学 科	—	5名	—	
法 学 部	法 律 学 科	—	5名	—	
政 策 学 部	政 策 学 科	—	5名	—	
国 際 学 部	国 際 文 化 学 科	—	20名	—	
	グローバルスタディーズ学科	若干名	10名	—	
理 工 学 部	数 理 情 報 学 科	若干名	2名	—	
	電 子 情 報 学 科	若干名	2名	—	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	若干名	2名	—	
	物 質 化 学 科	若干名	2名	—	
	情 報 メ デ ィ ア 学 科	若干名	2名	—	
	環 境 ソ リ ュ ー シ ョ ン 工 学 科	若干名	2名	—	
社 会 学 部	社 会 学 科	—	5名	—	
	コミュニティマネジメント学科	—	3名	—	
	現 代 福 祉 学 科	—	30名		
農 学 部	植 物 生 命 科 学 科	—	10名	—	
	資 源 生 物 科 学 科	—	10名	—	
	食 料 農 業 シ ス テ ム 学 科	—	10名	—	

※指定校推薦編入学試験の募集人員を含みます（農学部を除く）。

※文学部および社会学部現代福祉学科の募集人員には、社会人編転入学の募集人員（各学部・各学科・専攻とも若干名）を含みます。

出 願 資 格

3 年次編入学・転入学／全学部・学科・専攻

次の(1)から(6)のいずれかに該当する者。

(1)大学に2年以上在学した者または2019年3月に2年次修了見込みの者。

ただし、各学部への出願者は5ページの出願条件の一つを満たしている者に限る。

(2)短期大学を卒業した者または2019年3月に卒業見込みの者。

(3)高等専門学校を卒業した者または2019年3月に卒業見込みの者。

(4)専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上）を満たすものを修了した者または2019年3月に修了見込みの者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。

注. (4)の資格で出願できるのは、文学部・政策学部・国際学部・理工学部・社会学部・農学部の6学部に限ります。

(5)高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は2019年3月修了見込みの者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。

注. (5)の資格で出願できるのは、文学部・政策学部・国際学部・理工学部・社会学部・農学部の6学部に限ります。

(6)その他本学において上記(1)(2)と同等以上の学力があると認める者。

注. 龍谷大学在学中で、同一学科・専攻の転入学は認めません（学科が同じでも専攻が異なれば転入学は可能です）。

2 年次転学科・転入学（本学在学中に限る）／国際学部・理工学部

本学のいずれかの学部にて在籍する者で、1年次を修了した者または2019年3月に1年次修了見込みの者。

ただし、5ページの(1)または(2)の出願条件の一つを満たしている者に限る。

社会人編入学・転入学／文学部

2019年4月1日現在、満25歳に達し、次の(1)から(4)のいずれかに該当し、かつ(5)から(7)のいずれかに該当する者。

ただし、転入学試験出願者は5ページの出願条件の一つを満たしている者に限る。

(1)大学に2年以上在学した者、あるいは2019年3月に2年次修了見込みの者。

(2)短期大学を卒業した者、または2019年3月卒業見込みの者。

(3)高等専門学校を卒業した者、または2019年3月卒業見込みの者。

(4)その他本学において上記(1)(2)と同等以上の学力があると認められた者。

(5)勤労者等

①就業者・就業予定者等（公務員、会社・団体等勤務者、自営者、自活者、就業予定者、自活予定者）

②就業経験のある者（定年退職者等）

(6)主婦等（主婦、その他家事従事者）

(7)寺院関係者（浄土真宗をはじめとする仏教各宗派の住職、坊守、寺族、門徒推進員、門徒推進員予定者、門信徒等）

注. 龍谷大学文学部在学中で、同一学科・専攻の転入学は認めません（学科が同じでも専攻が異なれば転入学は可能です）。

※年齢が出願資格に満たない社会人の方は、一般の3年次編入学・転入学試験を受験してください。

※夜間に開講される課程ではありませんので、ご注意ください。

社会人編入学・転入学／社会学部 現代福祉学科

入学時に社会人としての経験を3年以上有し、次の(1)(2)のいずれかに該当する者。

(1)大学に2年以上在学した者。ただし、転入学試験出願者は5ページの出願条件の一つを満たしている者に限る。

(2)短期大学または高等専門学校を卒業した者。

出 願 条 件

〈3年次転入学〉

文学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または40単位以上修得済みで本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、40単位以上修得済みで2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
経済学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
経営学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
法学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
政策学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
国際学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
理工学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。 (注) なお、転入の学年は、修得単位・成績・試験結果などを考慮して、第2年次となる場合があります。(「合否判定」参照)
社会学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
農学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。

注1. 文学部、経済学部、理工学部、社会学部

上記の単位数は、当該大学が卒業要件に定める単位の有無は問いません。

注2. 経営学部、法学部、政策学部、国際学部、農学部

上記の単位数は、当該大学が卒業要件に定める単位の限ります。

注3. 単位修得見込みにより転入学試験に合格しても、その単位数が修得できなかった場合は入学を取り消します。(その場合は、至急当該学部教務課に連絡してください)

〈2年次転学科・転入学〉

国際学部 グローバル スタディーズ学科	(1)本学に1年以上在学し、36単位以上修得済みの者または本学2年次転入学時に36単位以上修得見込みの者。 (2)本学1年に在学し、1年次修了時に36単位以上修得見込みの者。 加えて、次の資格(スコア)のいずれかを過去2年以内*に取得している者。 a. TOEIC® 685点以上 b. TOEFL iBT® 70点以上 (TOEFL® PBT 525点以上) c. IELTS™ 5.5以上 ※本学の入学試験日と該当する各種資格試験の実施日を基準とする。
理工学部	(1)本学に1年以上在学し、30単位以上修得済みの者または本学2年次転入学時に30単位以上修得見込みの者。 (2)本学1年に在学し、1年次修了時に30単位以上修得見込みの者。

注. 単位修得見込みにより転入学試験に合格しても、その単位数が修得できなかった場合は入学を取り消します。(その場合は、至急当該学部教務課に連絡してください。)

出 願 期 間

理 工 学 部	2018年6月14日(木)～2018年6月20日(水)〈締切日消印有効〉
文学部・経済学部・経営学部 法学部・政策学部 国際学部・社会学部・農学部	2018年10月22日(月)～2018年11月2日(金)〈締切日消印有効〉

出願書類

出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

3年次編入学・転入学／全学部・学科・専攻

社会人編入学・転入学／文学部、社会学部 現代福祉学科

- (1)出願シート（本学所定用紙）
理工学部3年次編転入学試験出願者は2年次での合否判定の希望の有無を当該箇所に記入してください。
龍谷大学短期大学部出身者は「短大コード」に5548と記入してください。
- (2)卒業（見込）証明書または修了（見込）証明書
四年制大学在学中の者は在学期間証明書（本学所定用紙）または卒業見込証明書、短期大学・高等専門学校在学中の者は卒業見込証明書、高等学校専攻科在学中の者は修了見込証明書を提出してください。
なお、四年制大学を中退した者は、2年以上在学したことを示す在学期間証明書（本学所定用紙）を提出してください。
- (3)成績証明書
- (4)編入学・転入学試験志望理由書（本学所定用紙）
- (5)修得単位数証明書（本学所定用紙）
四年制大学在学中で、経営学部・法学部・政策学部・国際学部・農学部のいずれかへ出願する場合に必要です。
- (6)単位修得見込証明書
四年制大学在学中で、5ページに掲載の出願条件に記載している修得単位数見込みの者が、文学部・経済学部・理工学部・社会学部のいずれかへ出願する場合に必要です。
- (7)履修登録科目証明書（※今年度履修登録している授業科目が明記された証明書）
理工学部へ出願する場合に必要です（(6)単位修得見込み証明書において履修登録科目が明記されている場合は提出は不要）。
- (8)次の資格（スコア）取得を証明する資料（資格を有する者のみ）
国際学部グローバルスタディーズ学科の出願者で、資格を有している場合のみ必要です。
過去3年以内（本学の入学試験日と該当する各種資格試験の実施日を基準とする）に取得したことを、実施団体が証明する正式文書（写し）を提出してください。
 - a. TOEFL iBT® 80点以上（TOEFL® PBT 550点以上）
 - b. TOEIC® 730点以上
 - c. IELTS™ 6.0以上※提出した者は、「英語」を満点として採点するため、「外国語（英語）」を受験する必要はありません。

専修学校出身者3年次編入学／文学部・政策学部・理工学部・社会学部・国際学部・農学部

- (1)出願シート（本学所定用紙）
- (2)修了（見込）証明書
- (3)成績証明書
修了見込みの者は、成績証明書に加えて、現在履修中の科目がわかる「履修歴」の写し等。
- (4)編入学・転入学試験志望理由書（本学所定用紙）
- (5)受験資格証明書（本学所定用紙）
- (6)「高等学校卒業証明書」、「大学入学資格検定合格証明書」または「高等学校卒業程度認定試験合格証明書」（ただし、免除科目がある場合は最終高等学校調査書または成績証明書が必要）
- (7)履修登録科目証明書（※今年度履修登録している授業科目が明記された証明書）
理工学部へ出願する場合に必要です。
- (8)次の資格（スコア）取得を証明する資料（資格を有する者のみ）
国際学部グローバルスタディーズ学科の出願者で、資格を有している場合のみ必要です。
過去3年以内（本学の入学試験日と該当する各種資格試験の実施日を基準とする）に取得したことを、実施団体が証明する正式文書（写し）を提出してください。
 - a. TOEFL iBT® 80点以上（TOEFL® PBT 550点以上）
 - b. TOEIC® 730点以上
 - c. IELTS™ 6.0以上※提出した者は、「英語」を満点として採点するため、「外国語（英語）」を受験する必要はありません。

2年次転学科・転入学／国際学部グローバルスタディーズ学科・理工学部

- (1)出願シート（本学所定用紙）
- (2)在学期間証明書（本学所定用紙）
- (3)編入学・転入学試験志望理由書（本学所定用紙）
- (4)修得単位数証明書（本学所定様式）
- (5)出願資格に定める英語の資格（スコア）取得を証明する資料
国際学部へ出願する場合に必要です。
過去2年以内に取得したことを実施団体が証明する正式文書（写し）を提出してください。
TOEFL® のスコアを出願資格として用いる場合は、「Official Score Report（公式スコア票）」または「Examinee Score（受験者用控えスコア票）」のいずれかを提出してください。

※いったん提出された出願書類は、返却しません。

個人情報保護について

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく、第三者に個人情報を提供することはありません。
※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

出願書類送付先

〒604-8799 中京郵便局留「龍谷大学入学試験願書受付センター」宛（郵送に限ります。）
※本学所定の封筒にて、簡易書留・速達で郵送してください。

受験料・納入方法

受験料 35,000円

- (1)出願シートの振込依頼書に記入の上、金融機関（銀行等）窓口にて出願期間内に納入してください。
取扱金融機関取納印をもって納入とみなします。受験料領収書は本人控えです。
- (2)いったん納入された受験料は返還しません。

感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。
学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していないために本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる受験料を返還いたしますので、本学HP（<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/syutsugan/henkan2.html>）で手続きを確認し、各自行ってください。

試験日・試験会場

学 部	試 験 日	試 験 会 場
理 工 学 部	2018年7月7日(土)	瀬田キャンパス (大津市瀬田大江町横谷1-5)
国際学部グローバルスタディーズ学科(2年次転学科・転入学)	2018年11月24日(土)	深草キャンパス (京都市伏見区深草塚本町67)
文学部・経済学部・経営学部・法学部・政策学部・国際学部(3年次編入学・転入学)	2018年11月25日(日)	深草キャンパス (京都市伏見区深草塚本町67)
社 会 学 部 ・ 農 学 部		瀬田キャンパス (大津市瀬田大江町横谷1-5)

試験科目

〈3年次編入学・転入学〉

学 部	専 門 科 目		外国語	面 接
文 学 部	一 般	各学科、専攻により異なる。	英 語	
	社会人	※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。		
経済学部	経済学 ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。		英 語	面 接
経営学部	経営学(会計学を含む) ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。			
法 学 部	法学 ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。			
政策学部	小論文			
国際学部	小論文			
理 工 学 部	数理情報学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「微積分」、「線形代数」、「プログラミング」、「力学」) 専門科目Ⅱ(2年次までの基礎学力:「微積分」、「線形代数」、「プログラミング」、「力学」)		
	電子情報学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「数学」微分・積分・行列、「物理」力学、「計算機基礎」コンピュータの仕組みなど) 専門科目Ⅱ(2年次までの基礎学力:「数学」微分方程式・ベクトル解析の初歩、「電気回路」直流回路および交流回路、「電磁気学」静電気・静磁気、「計算機基礎」コンピュータの構成等)		
	機械システム工学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「物理」、「微分・積分」、「線形代数」) 専門科目Ⅱ(2年次までの基礎学力:「機械力学」、「材料力学」、「熱力学」)		
	物質化学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「化学基礎」原子と元素・化学結合・物質の性質・有機化学の基礎など) 専門科目Ⅱ(2年次までの基礎学力:「分析化学」化学平衡、「物理化学」化学熱力学、「無機化学」無機化学全般、「有機化学」炭化水素化合物の構造と反応・立体化学・ハロゲン化アルキル・芳香族化合物の化学など)		
	情報メディア学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「数学」微積分、線形代数) 専門科目Ⅱ(2年次までの専門基礎学力:「情報・メディア工学」計算機基礎、プログラミング)		
	環境ソリューション工学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「物理」力学、「化学」無機化学、「数学」微分・積分) 専門科目Ⅱ(2年次までの基礎学力:「環境工学」の基礎的事項、「生態学」の基礎的事項)		
社会学部	一 般	社会学科……………社会学 コミュニティマネジメント学科……………コミュニティ論 現代福祉学科……………社会福祉学原論(社会福祉史を含む) ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。		
	社会人	現代福祉学科……………小論文		
農 学 部	植物生命科学科	生物学	英 語	
	資源生物科学科	※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。		
	食料農業システム学科	食料経済学 ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。		

〈2年次転学科・転入学〉

学 部	専 門 科 目		外国語	面 接
国際学部	グローバルスタディーズ学科			
理 工 学 部	数理情報学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「微積分」、「線形代数」、「プログラミング」、「力学」)	英 語	面 接
	電子情報学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「数学」微分・積分・行列、「物理」力学、「計算機基礎」コンピュータの仕組みなど)		
	機械システム工学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「物理」、「微分・積分」、「線形代数」)		
	物質化学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「化学基礎」原子と元素・化学結合・物質の性質・有機化学の基礎など)		
	情報メディア学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「数学」微積分、線形代数)		
	環境ソリューション工学科	専門科目Ⅰ(1年次までの基礎学力:「物理」力学、「化学」無機化学、「数学」微分・積分)		

試験時間・合否判定

文学部					
試験時間	9:15~9:40	9:40~10:50	11:30~12:30	13:30~	
試験科目	説明	専門科目	外国語(英語)	面接	

文学部／社会人編入学・転入学					
試験時間	9:15~9:40	9:40~10:50	11:30~		
試験科目	説明	専門科目	面接		

経済学部					
試験時間	8:50~9:10	9:10~10:20	10:50~11:50	13:10~	
試験科目	説明	専門科目	外国語(英語)	面接	

経営学部、法学部					
試験時間	9:45~10:00	10:00~11:10	11:30~12:30	13:30~	
試験科目	説明	専門科目	外国語(英語)	面接	

政策学部					
試験時間	9:45~10:00	10:00~11:10	11:30~12:30	13:30~	
試験科目	説明	小論文	外国語(英語)	面接	

国際学部／3年次編入学・転入学					
試験時間	8:50~9:10	9:10~10:10	10:30~11:30	12:30~	
試験科目	説明	小論文	外国語(英語)*	面接	

*国際学部グローバルスタディーズ学科出願者について
次の資格(スコア)のいずれかを出願書類として提出した者は、「英語」を満点として採点するため、「外国語(英語)」を受験する必要はありません。過去3年以内(本学の入学試験日と該当する各種資格試験の実施日を基準とする)に取得したことを、実施団体が証明する正式文書(写し)を提出してください。

- a. TOEFL iBT® 80点以上 (TOEFL® PBT550点以上) b. TOEIC® 730点以上 c. IELTS™ 6.0以上

国際学部／2年次転学科・転入学(本学在學生に限る)					
試験時間	10:10~10:30			10:30~	
試験科目	説明			面接	

社会学部					
試験時間	9:45~10:00	10:00~11:10	11:30~12:30	13:30~	
試験科目	説明	専門科目	外国語(英語)	面接	

社会学部／社会人編入学・転入学					
試験時間	9:45~10:00	10:00~11:10	11:30~		
試験科目	説明	小論文	面接		

農学部					
試験時間	9:45~10:00	10:00~11:10	11:30~12:30	13:30~	
試験科目	説明	専門科目	外国語(英語)	面接	

理工学部／3年次編入学・転入学					
試験時間	9:45~10:00	10:00~11:10	11:30~12:30	13:30~14:40	15:00~
試験科目	説明	専門科目Ⅰ	外国語(英語)	専門科目Ⅱ	面接

理工学部／2年次転学科・転入学(本学在學生に限る)					
試験時間	9:45~10:00	10:00~11:10	11:30~12:30	13:30~	
試験科目	説明	専門科目Ⅰ	外国語(英語)	面接	

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

小論文・面接について

文学部	面接	文学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、志望する学科・専攻に対する明確な動機と学習意欲などを中心に面接します。
経済学部	面接	経済学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基に志望動機・大学での学修の抱負などを中心に面接します。
経営学部	面接	経営学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基にして、志望動機・高校卒業以降の学業状況・編入後の大学生生活の抱負などをふまえて適性を判定します。
法学部	面接	法学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、法学部での学びの目標やどのような学生生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。
政策学部	小論文	受験生の文章表現力や論理性などを評価し、政策学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	政策学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、政策学部での学びの目標やどのような学生生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。
国際学部	小論文	受験生の思考力と文章構成力を評価し、国際学部で学ぶにあたっての適性および真摯な勉学意欲の持ち主であるかどうかについて判定します。
	面接	なぜ国際学部での勉学を強く希望し入学を志すのか、入学後も学業に情熱を注ぎ続ける意欲と勤勉さの持ち主であるかどうかを中心に面接します。
理工学部	面接	理工学部の各学科で必要となる基礎的な能力、志望動機、コミュニケーション力などについて対話を通じて評価します。
社会学部	小論文 (社会人のみ)	受験生の思考力、意見表明能力を評価し、社会学部で学ぶにあたっての適性・素質を判定します。
	面接	個人面接です。この試験では、社会学部での勉学を強く希望し入学を志すのかについての適性・素質を判定します。入学後も学業に情熱を注ぎ続けることのできる強い意志を有しているかについても判定します。
農学部	面接	農学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、志望する学科に対する明確な動機と学習意欲などを中心に評価します。

<合否判定>

- (1)出願書類、学科試験、面接などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
- (2)理工学部の3年次編入学・転入学試験は、修得単位・成績、学科試験および面接を総合して、合否を判定します。2年次での合否判定を希望する者は、その判定において編・転入の学年が第2年次となる場合があります。

合格発表

学部	合格発表日
理工学部	2018年7月14日(土)
文学部・経済学部・経営学部・法学部 政策学部・国際学部・社会学部・農学部	2018年12月11日(火)

- (1)合否結果は合格発表日に本人宛に特定記録・速達で郵送します。
- (2)合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入 学 手 続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。
所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

<理工学部>

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2018年7月17日(火)～2018年7月24日(火)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。

手続期間 2018年7月17日(火)～2019年3月22日(金)

<文学部・経済学部・経営学部・法学部・政策学部・国際学部・社会学部・農学部>

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2018年12月11日(火)～2018年12月17日(月)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。

手続期間 2018年12月11日(火)～2019年3月22日(金)

注1. 学費・諸会費については、12～14ページを参照してください。

2. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。

3. 納入された入学申込金は返還しません。その他の納入金の返還については「授業料等返還制度」を参照してください。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、2019年3月31日(日)15:00まで（提出書類必着）に手続きをしてください。手続の方法は合格者に送付する「入学ハンドブック」でご確認ください。所定の手続を完了されることにより、入学申込金（200,000円）を除く入学時納入金を返還いたします。

注 意 事 項

(1)試験中はすべて監督者の指示に従ってください。指示に従わないときは不正行為とみなし、全科目を無効とします。

(2)龍谷大学入学試験では、身体等に障がいのある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や可否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

単位の認定等

入学後の単位の認定は、各学部で行います。

文学部	出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科の課程での修得単位を基礎として、60～64単位を認定します。ただし、出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科の課程での修得単位を上限とします。
経済学部	出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
経営学部	出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
法学部	出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
政策学部	出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科の課程での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
国際学部	<p><3年次編入学・転入学> 出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科の課程での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。</p> <p><2年次転学科・転入学> 出身学部・学科での修得単位を基礎として、42単位を上限として認定します。</p>
理工学部	<p>出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科の課程での修得単位を基礎として、理工学部当該学科での開講科目の範囲で認定することを基本とします。</p> <p>なお、理工学部では「進級制度」を設けているため、認定等に当たっては入学後の学修面で支障のないよう以下のような措置が講じられます。ただし、これら措置により認定する単位数は、前所属校における修得単位数を超えることはできません。</p> <p>①入学前の学修指導 編入学・転入学試験合格発表の後、早い時期に本学部教員が合格者を面談し、学科カリキュラム・単位認定制度（試験による単位認定制度および入学前科目履修制度を含む）を説明し、入学までの学修計画について指導します。</p> <p>②3年次および4年次配置科目の認定 編入学・転入学学生が前所属校において単位取得した科目が、当該学科では編入学・転入学年より上の学年に配置されていても、単位認定を行うことがあります。</p> <p>③実力試験による単位認定 編入学・転入学学生の前所属校に対応する科目がない場合には、実力を試す機会を与える為に試験を課し、合格点を取れば単位認定できる制度があります。</p>
社会学部	<p><社会学科・コミュニティマネジメント学科> 派立・関係短期大学出身者は64単位（仏教の思想を含む）、それ以外の短期大学出身者は60単位（仏教の思想を除く）を認定します。</p> <p>四年制大学出身者については、短期大学からの編入生に準じ、個別対応とします。</p> <p>高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科の課程出身者は、修得単位を基礎として、当学科での開講科目の範囲で個々に認定します。</p>
	<p><現代福祉学科> 派立・関係短期大学出身者は62単位（仏教の思想を含む）、それ以外の短期大学出身者は58単位（仏教の思想を除く）を認定します。</p> <p>ただし、社会福祉系短大出身の編入生で社会福祉士国家試験受験基礎資格を有する者に対しては、認定単位内で希望する指定科目を22単位まで認定することがあります。</p> <p>四年制大学出身者については、短期大学からの編入生に準じ、個別対応とします。</p> <p>高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科の課程出身者は、修得単位を基礎として、当学科での開講科目の範囲で個々に認定します。</p>
農学部	出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科の課程での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。

学 費 等

2019年度入学者の学費および諸会費は次のとおりです（予定）。

〈3年次編入学・転入学〉

〈社会人編入学・転入学〉

他大学・他短期大学・高等専門学校・専修学校・高等学校等専攻科課程出身者

(単位：円)

		文学部 ^{※3} 経済学部 経営学部	法 学 部	政策学部	国際学部		理工学部	社会学部	農 学 部	
					国際文化学科	グローバル スタディーズ学科			植物生命科学科 資源生物科学科	食料農業 システム学科
学 費	入 学 金 ^{※1}	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	前 期 授 業 料	380,500	380,500	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500	474,500
	前 期 施 設 費	130,000	130,000	130,000	125,000	125,000	170,000	130,000	190,000	125,000
	前期実験実習料・実習料	—	—	7,500	5,000	—	71,800	17,950	71,800	17,950
	前期留学実習料	—	—	—	—	85,000	—	—	—	—
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	2,000
	学 会 費	3,000	4,000	4,000	4,000	4,000	3,000	4,000	3,000	3,000
	学 友 会 入 会 金	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	前期学友会会費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	親 和 会 会 費	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	校友会予納金	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
入 学 時 納 入 金	642,000	643,000	650,500	650,500	808,000	862,800	658,950	867,800	748,950	
学 費	後 期 授 業 料	380,500	380,500	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500	474,500
	後 期 施 設 費	130,000	130,000	130,000	125,000	125,000	170,000	130,000	190,000	125,000
	後期実験実習料・実習料	—	—	7,500	5,000	—	71,800	17,950	71,800	17,950
	後期留学実習料	—	—	—	—	85,000	—	—	—	—
諸 費	後 期 学 友 会 会 費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
後 期 納 入 金 ^{※2}	512,000	512,000	519,500	519,500	677,000	732,800	529,950	737,800	618,950	
初 年 度 納 入 金	1,154,000	1,155,000	1,170,000	1,170,000	1,485,000	1,595,600	1,188,900	1,605,600	1,367,900	

※1 入学金は入学年度のみ納入していただきます。

※2 後期納入金は、9月末日を納入期限としています。後期学費の納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送します。

※3 文学部歴史学科文化遺産学専攻は実習料として、前期17,950円、後期17,950円を納入していただきます。

注1. 諸会費は学会、学友会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

2. 各学部等には、それぞれの学術研究の推進のために、専任教員、大学院生、学部学生等で構成する学会を設けています。その学会の会費として、入会金2,000円（社会学部を除く）、学会費 [文学部・経済学部・経営学部・理工学部・農学部はそれぞれ3,000円、法学部・政策学部・国際学部・社会学部はそれぞれ4,000円] を納入していただきます。

3. 学友会は、全ての学生によって構成され、学生の声を反映させながら学生生活の改善・向上に取り組んでいる学生自治会です。その会費として、入会金4,500円、学友会費年間3,500円（前期2,000円、後期1,500円）を納入していただきます。

4. 親和会は、学生の保護者をもって構成され、龍谷大学の発展に資し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的としています。その会費として、入会金3,000円、親和会費年間7,000円を納入していただきます。

5. 校友会は、龍谷大学および短期大学部を卒業した人等で、組織されています。終身会費として、40,000円納入していただくことが必要ですが、この会費のうち、10,000円を入学時に予納していただくものです。残額については、卒業年次に納入していただきます。

本学短期大学部出身者

(単位：円)

	文学部 ^{※3}	経済学部 経営学部	法学部	政策学部	国際学部		理工学部	社会学部	農学部		
					国際文化学科	グローバル スタディーズ学科			植物生命科学科 資源生物科学科	食料農業 システム学科	
学 費	入 学 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	前 期 授 業 料	380,500	380,500	380,500	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500	
	前 期 施 設 費 ^{※1}	105,000	105,000	105,000	105,000	100,000	100,000	145,000	105,000	165,000	
	前期実験実習料・実習料	—	—	—	7,500	5,000	—	71,800	17,950	71,800	17,950
	前期留学実習料	—	—	—	—	—	85,000	—	—	—	—
諸 会 費	学 会 入 会 金	—	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	
	学 会 費	3,000	3,000	4,000	4,000	4,000	4,000	3,000	4,000	3,000	
	学 友 会 入 会 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	前期学友会会費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	親 和 会 入 会 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	親 和 会 会 費	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
	校 友 会 予 納 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	入 学 時 納 入 金	497,500	499,500	500,500	508,000	508,000	665,500	720,300	516,450	725,300	606,450
学 費	後 期 授 業 料	380,500	380,500	380,500	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500	
	後 期 施 設 費 ^{※1}	105,000	105,000	105,000	105,000	100,000	100,000	145,000	105,000	165,000	
	後期実験実習料・実習料	—	—	—	7,500	5,000	—	71,800	17,950	71,800	
	後期留学実習料	—	—	—	—	—	85,000	—	—	—	
諸 費	後 期 学 友 会 会 費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
後 期 納 入 金 ^{※2}	487,000	487,000	487,000	494,500	494,500	652,000	707,800	504,950	712,800	593,950	
初 年 度 納 入 金	984,500	986,500	987,500	1,002,500	1,002,500	1,317,500	1,428,100	1,021,400	1,438,100	1,200,400	

※1 本学短期大学部出身者（2011年度以降入学生）が本学学部へ編入学する場合、編入学初年度及び2年度目（3年次・4年次）の施設費をそれぞれ年間50,000円減免しています。

※2 後期納入金は、9月末日を納入期限としています。後期学費の納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送します。

※3 文学部歴史学科文化遺産学専攻は実習料として、前期17,950円、後期17,950円を納入していただきます。

注 諸会費は、学会、学友会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

本学転専攻・転学科者

(単位：円)

	文学部 ^{※2} 経済学部	国際学部		理工学部	社会学部	農学部	
		国際文化学科	グローバル スタディーズ学科			植物生命科学科 資源生物科学科	食料農業 システム学科
学 費	入 学 金	—	—	—	—	—	—
	前 期 授 業 料	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500
	前 期 施 設 費	130,000	125,000	125,000	170,000	130,000	190,000
	前期実験実習料・実習料	—	5,000	—	71,800	17,950	71,800
	前期留学実習料	—	—	85,000	—	—	—
諸 会 費	学 会 入 会 金	—	—	—	—	—	—
	学 会 費	3,000	4,000	4,000	3,000	4,000	3,000
	学 友 会 入 会 金	—	—	—	—	—	—
	前期学友会会費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	親 和 会 入 会 金	—	—	—	—	—	—
	親 和 会 会 費	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	—	—	—	—	—	—
	入 学 時 納 入 金	522,500	531,000	688,500	743,300	541,450	748,300
学 費	後 期 授 業 料	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500
	後 期 施 設 費	130,000	125,000	125,000	170,000	130,000	190,000
	後期実験実習料・実習料	—	5,000	—	71,800	17,950	71,800
	後期留学実習料	—	—	85,000	—	—	—
諸 費	後 期 学 友 会 会 費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
後 期 納 入 金 ^{※1}	512,000	519,500	677,000	732,800	529,950	737,800	618,950
初 年 度 納 入 金	1,034,500	1,050,500	1,365,500	1,476,100	1,071,400	1,486,100	1,248,400

※1 後期納入金は、9月末日を納入期限としています。後期学費の納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送します。

※2 文学部歴史学科文化遺産学専攻は実習料として、前期17,950円、後期17,950円を納入していただきます。

注 諸会費は、学会、学友会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

本学転学部者・本学出身者

(単位：円)

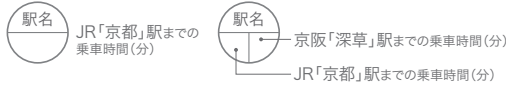
	文学部※2 経済学部 経営学部	法学部	政策学部	国際学部		理工学部	社会学部	農学部	
				国際文化学科	グローバル スタディーズ学科			植物生命科学科 資源生物科学科	食料農業 システム学科
入学金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
前期授業料	380,500	380,500	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500	474,500
前期施設費	130,000	130,000	130,000	125,000	125,000	170,000	130,000	190,000	125,000
前期実験実習料・実習料	—	—	7,500	5,000	—	71,800	17,950	71,800	17,950
前期留学実習料	—	—	—	—	85,000	—	—	—	—
諸学会費									
学会入会金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	2,000
学会費	3,000	4,000	4,000	4,000	4,000	3,000	4,000	3,000	3,000
学友会入会金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
前期学友会会費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
親和会入会金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
親和会会費	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
校友会予納金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
入学時納入金	524,500	525,500	533,000	533,000	690,500	745,300	541,450	750,300	631,450
後期授業料	380,500	380,500	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500	474,500
後期施設費	130,000	130,000	130,000	125,000	125,000	170,000	130,000	190,000	125,000
後期実験実習料・実習料	—	—	7,500	5,000	—	71,800	17,950	71,800	17,950
後期留学実習料	—	—	—	—	85,000	—	—	—	—
諸費									
後期学友会会費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
後期納入金※1	512,000	512,000	519,500	519,500	677,000	732,800	529,950	737,800	618,950
初年度納入金	1,036,500	1,037,500	1,052,500	1,052,500	1,367,500	1,478,100	1,071,400	1,488,100	1,250,400

※1 後期納入金は、9月末日を納入期限としています。後期学費の納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送します。

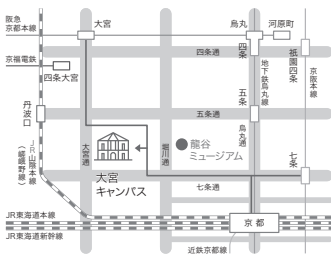
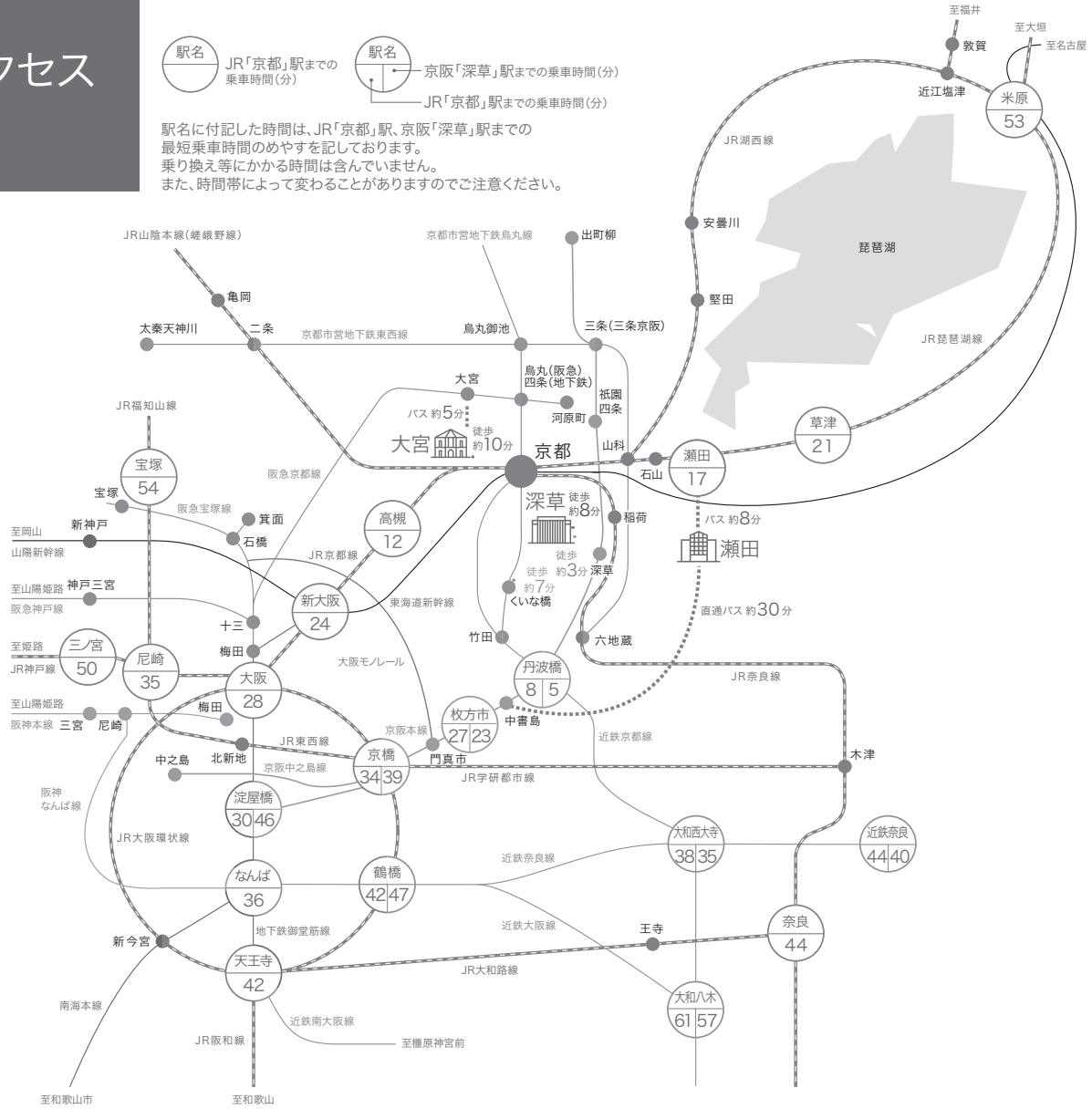
※2 文学部歴史学科文化遺産学専攻は実習料として、前期17,950円、後期17,950円を納入していただきます。

注. 諸会費は学会、学友会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

アクセス

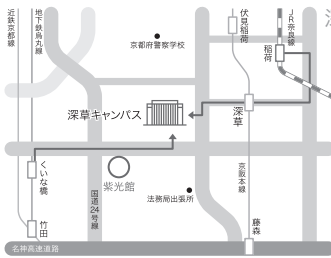


駅名に付記した時間は、JR「京都」駅、京阪「深草」駅までの最短乗車時間のめやすを記しております。乗り換え等にかかる時間は含んでいません。また、時間帯によって変わることがありますのでご注意ください。



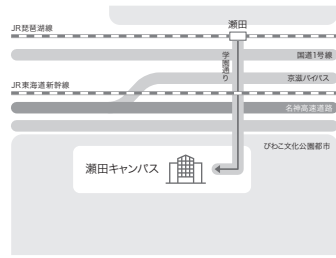
大宮キャンパス

- JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
- 京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
- 阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分(市バス約5分)



深草キャンパス

- JR奈良線「福荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分



瀬田キャンパス

- JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分
- 京阪本線「中書島」駅下車、京阪バス約30分



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

入試部

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
Tel 075-645-7887 (入試部ダイヤルイン) Fax 075-645-4155
<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/>

大宮キャンパス

文学部 / 真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、臨床心理学科、歴史学科(日本史学専攻・東洋史学専攻・仏教史学専攻・文化遺産学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科

深草キャンパス

文学部 / 真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、臨床心理学科、歴史学科(日本史学専攻・東洋史学専攻・仏教史学専攻・文化遺産学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科

瀬田キャンパス

経済学部 / 現代経済学科、国際経済学科
経営学部 / 経営学科
法学部 / 法律学科
政策学部 / 政策学科
国際学部 / 国際文化学科、グローバルスタディーズ学科
短期大学部 / 社会福祉学科、こども教育学科
大学院 / 法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、政策学研究科、国際学研究科

大宮キャンパス

理工学部 / 数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学科、物質化学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科

瀬田キャンパス

社会学部 / 社会学科、コミュニティマネジメント学科、現代福祉学科
農学部 / 植物生命科学科、資源生物科学科、食品栄養学科、食料農業システム学科
大学院 / 社会学研究科、理工学研究科、農学研究科